

濱口雄幸 はまぐち ひとゆき 政治家。明治二年四月一日上佐國生れ、昭和六年八月二十一日歿（二七〇—一九三二）。舊姓水口。明治二十八年帝國大學法科大學卒。大藏省入省、大藏次官等を経て、大正四年衆議院議員（當選六回）。藏相、内相も歴任し、昭和二年と憲民政黨初代總裁、四年首相、翌年金解禁斷行後東京驛で佐郷屋留雄に銃撃せられ、六年内閣總辭職。

著書 『濱口大藏大臣財政經濟演說集』（大藏大臣官房編、大正十五年七月十五日大鏡閣）、『憲民政黨の本領』（若槻禮次郎・末次竹二郎合著、昭和二年八月十八日台々吾郎編刊）、『憲民政黨演說部』（『強く正しく明るき政治』（昭和五年一月）二十八日春秋社）等の他、加藤綱一著『大宰相濱口雄幸』（昭和四年十月十五日文武書院）、龍鳳樓樂部同人著『濱口内閣罪責の値は滅亡也』（昭和四年十一月一日荒川精一編刊）、大養毅著『景氣の不景氣の不景氣の不景氣』（山浦貫一編、昭和五年一月九日誠文堂）等がある。

